

エフスタ!! Tokyo Vol.3 「クラウド祭り」

エフスタ!! vol.22



2012年12月に始まったエフスタ!!Tokyoも3回目を迎えました。今回は「クラウド祭り -クラウドサイコー(再考&最高)-」というコンセプトのもと、今では一般的になったクラウドを新たな視点から振り返るということで、Windows Azure, AWSなどのクラウドサービスだけではなく、セキュリティの側面からも考えるということで、盛り沢山の内容となりました。

また福島の実状を伝えるということで、福島の食の安全性に関する共有がありました。今回は福島県内からの参加者が大変多く、東京の技術者と福島の技術者が多く接点を持つことが出来た勉強会となりました。

ご参加いただいた皆さん、講師の皆さん、本当にありがとうございました！

クラウドを中心とした潮流と Windows Azure

エフスタ!!Tokyo Vol.3の最初のセッションは、日本マイクロソフト株式会社の松崎 剛さんによる、「クラウドを中心とした潮流とWindows Azure」というタイトルで講演いただきました。

今まで「クラウド」は狭いエリアの人が使うものでしたが、2020年にはPC,タブレットだけではなく、車や家電などを含め20兆個ものデバイスがクラウドと繋がることが見込まれ、どこが時代の潮流となるのか？という問いかけがありました。

その中で「Windows Azure」のIaaS寄りでもなく、PaaS寄りでもないオールマイティ戦略や、プラットフォームに関する考え方をご説明いただき、Windows Azureでの各種デモを実施頂きました。

クラウドというとAWSに目が行きがちですが、Windows Azureにも私達が知らなかった便利な機能・考え方がたくさんあり、実際に自分たちでいろいろ試してみたいくなる内容でした。



JAWS-UG会津支部 副支部長 栗原 淳一さんから、AWSの「低価格、低コスト構造、圧倒的な品ぞろえ」という理念、基本的な仕組みと、オンプレミスでは不可能な「5分以内にサーバを構築できる」凄さに関して説明いただきました。その中でユーザーズ会の活発な活動内容の共有と、ユーザー会への参加促進がなされました。

また実際に「5分でWordpressサーバ」を構築するデモを実演いただくとともに、Elastic Map Reduceでのデータマイニングの例を話していただきました。

その中で「EXTREME AWS」という「マラソンの後や登山後」などの極限の状況でも5分でサーバを立ちあげられるという、大変チャレンジングなことをされていました！

もう一つ大変チャレンジングなことをされていたのですが、それは是非エフスタに足を運んでいただき、本人から聞いてみてください(笑)



JAWS-UG 会津支部 石川 智史さんから、「Twitterから取得したデータ」を用いてAWS上に評価分析サービスを配置するという、実践的なAWS活用法についてお話いただきました。

Twitter上の「とあるテーマ」に沿ったツイートを形態素解析し、ポジティブ/ネガティブ判定するアナライザーを題材として扱い、その中で課題となる「データ解析」に関して Amazon EMRを用いた「ベイズ分類機」を実装し、実際のサービスに組み込んだWebサービスを作成し、デモンストレーションをしていただきました。

またAWSだけではなくWindows Azureでも同様なことが実現可能なことにも触れられており、「クラウドサービス」の様々な可能性を熱く語って頂きました。

「とあるテーマ」に関しては、是非ご本人の口から聞いていただきたいと思います(笑)



株式会社ディアイティ セキュリティサービス事業部 河野省二さんから、「クラウドのセキュリティ」の現状と、クラウドを活用する時代の中で、我々はどのような点に気をつけていくべきか、というお話を頂きました。

情報セキュリティの大原則として「情報セキュリティはITを最大に活用するための最小限の安全確保」という前提に基づき、組織における「セキュリティの考え方」「自分たちに対応できること」「二次被害を起こさないこと」をしっかりと設定することの重要性を伝えていただきました。

またクラウドを利用する際の「不安」を払拭するためのガイドラインの存在や、実際に我々ができることとして「こまめなバックアップ」「パスワードなどの正しい管理」の実施であり、それができるクラウドサービスプロバイダが良い提供者である、ということを共有いただきました。

分からないからといって恐れるのではなく、私達自身もリスクを取って、より効果的に活用できる方法を模索することが重要だと感じました。



エフスタ!!スタッフの影山さん、菊地さんから、「福島の水の安全性」に関する報告をいただきました。

現状「安全=安心=絶対」が崩壊している状況にある中で、まずこれをスケールで考えてみましょうという提案がなされました。

その中で改めて「安全を学ぶ」ということで、現在の福島で行われている、農作物への放射線物質の検査方法や、検査機によって結果が違ふことが共有されました。また「安全」という言葉に対する考え方も人、組織によってそれぞれ違いがあるという現状が報告されました。

結論として、私達は「よく知り、信頼できる情報を確認する」という意識を持つことが大切ということが共有されました。



5分以上でも5分以下でもいけないエフスタスタイルのライトニングトーク大会。

今回も8名の方に登壇して頂きました。

「仕事と仕事の価値」「子どもとか遊びの話」「動画マッピング」など、IT技術だけには偏らない、様々なテーマに関するLTが行われ、私達エフスタTokyoスタッフも様々な刺激を受けました。

またエフスタ主催者である大久保さんから、2014年のエフスタの広がり・夢などを語っていただき、より一層「エフスタ」がより広範囲に、より新しい方向に進んでいく予感を感じられました。



福島から「じゃんけんマン」にお越しいただき、エフスタ恒例のじゃんけん大会が行われました。
商品をご提供いただきました「御稻プライマル株式会社」様、「インフラジスティックス・ジャパン株式会社」様、「株式会社ディアイティ」様、ありがとうございました。



懇親会は参加者数が36名と大盛況でした。
講師・スタッフ・参加者の方々が入り混じり、普段聞けないような情報の効果や、東京と福島での新たなつながりが出来たりと、存分に堪能していただけたのではないかと思います。

